



総合管理学部総合管理学科 魚住早希

私は2018年2月末から2019年2月末までの1年間、熊本県立大学の姉妹校、韓国の天安にある祥明大学校へ交換留学生として在籍していた総合管理学部の魚住早希です。小学校から韓国に興味を持ち、高校での第二外国語としての授業を通じ、より韓国への関心が深まり大学でも第二外国語の授業も韓国語を選択しました。今回、韓国にある姉妹校に交換留学生として在籍できるという素晴らしい機会をいただき、充実した1年間が過ぎました。

3月

韓国についてから授業が始まるまでの1週間は新しく始まる生活に不安を感じつつもすべてのものが新鮮で感動しっぱなしだったのを覚えています。外国人留学生に向けてのオリエンテーションも行われました。祥明大学校は国際色豊かな学校でそこには私たち日本人をはじめ、中国、ウズベキスタン、ベトナムなどから学生が多数来ていました。

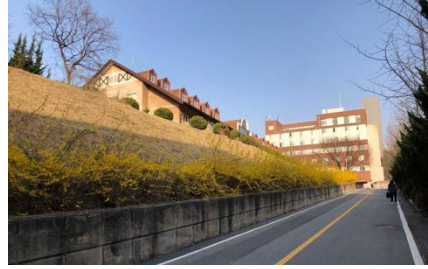
祥明大学校では日本語文学学科に所属していたため日本語の授業が中心でした。また外国人向けの授業も開講されているため計6科目15単位の授業を履修しました。もちろん授業は韓国語で行われるため最初は授業についていくのにも一苦労で予習復習に追われる日々でした。

外国人向けの授業では韓国の文化を中心に、一緒に受けている外国人留学生たちと自国との比較もしながら授業を進めていきました。韓国だけでなくほかの国に対する関心も増え、また日本人が少数なため自国の文化を自分のつたない韓国語で伝えることができず、すごくもどかしかった記憶があります。(写真はMTの様子)



4月

韓国の4月は思ったより寒く、雪が降るほどでしたが、学校は自然も豊かで春の訪れである黄色い花、ケナリ（レンギョウ）も咲いていました。（写真）またイベントも多く、ワールドレッジとスクールブロッサムという春の学園祭のようなものが行われました。またこの頃になると授業は最初よりも聞き取れるようになり



ましたが、毎週の単語テストや課題に追われながらも充実した日々を送ることができました。また韓国には日本の大学と違って中間テストも行われます。4月末に行われたのですが、1週間前から学食やパソコン室、図書館は勉強する人であふれていました。テストは1週間の補講期間等もなくすぐに行われるためすごく大変だった記憶があります。授業ではペアワークなどもすることが増え、そこで友達の輪が広がったり、遊びに行く友人もできました。

5月

5月に入ってから授業での発表や討論も増え、相変わらず忙しい日々を送っていました。5月中旬に開学記念のイベントも行われました。学生主催のイベントや行事が多く、非常に学生生活にやりがいを感じることができ、勉強だけでなくそういったことにも打ち込めることがいいなと思いました。5月末には韓国語能力試験があり、天安のよこにあるアサン市のソナムン大学で受験をしました。（写真）別の大学に行く機会がなかったのすごく新鮮だったのと、すごく都会でもないのにこんなに外国人がいたのかと驚くくらいの人数でした。



6月

6月にも学生主催のイベントがおこなわれました。また韓国には兵役制度がありますが、約2年の兵役のあとにも予備軍といって1年に1回ほどの招集があり、山に登るなどのちょっとした訓練があります。学校中の男子生徒が軍服を着て写真を撮っている姿がすごく不思議でした。（写真）そして6月末ですが学期末なため、期末テストが行われました。中間テスト後の後半の内容や、



中間テストで形式をきちんとつかみ、中間テストより、より効率的に勉強することができたと思います。7月から2か月間の夏休みのため、ソウルに部屋を借りようと前期中に不動産を回り、契約するといった大変な作業も行いましたが、問題なく手続きできて安心しました。